

- [1] 【運営会議報告\_01】次期体制と年間予定が確定しました！
  - [2] 【運営会議報告\_02】会議要旨と参加者の声をご紹介します
  - [3] 【RBS開催報告】鹿児島支部「ASTERのこれまでとこれから」
  - [4] 【Renovation Times 08号】ROY2024 受賞作から探るこれからのトレンド
  - [5] 【Renovation Times 増刊号】これからのリノベーションで必要とされるキッチン
  - [6] 【余話】広報担当がつぶやく「ここだけの話」
- 

- [1] 【運営会議報告\_01】次期体制と年間予定が確定しました！
- 

2025年2月4日（火）、九州沖縄エリア支部の次年度運営方針に関する会議が開催されました。会議には6役と各支部の代表者が参加し、馬越理事が提起した議題に沿って協議し、下記の通り次期体制と年間予定を確定しました。

#### 【次期体制】

理事：馬越重治（エス・コンセプト）  
部会長：松山真介（アポロ計画）  
副部会長：末竹泰典（リノリビング）  
事務局長：山崎大亮（はぴりの）  
会計：原文美（ハラプロ）  
広報：土田芳史（平成広告宣伝事務所）  
Renovation Now 担当：徳永祐史（HIGH END）  
イベント担当：福添建一（ふくろう不動産）  
交流研修担当：上原香織（一級建築士事務所ソラルテ空間設計）  
支部サポート：中嶋潤一（谷弥）  
北九州支部長：福谷広志（不動産プラザ）  
熊本支部長：中川正太郎（中川正人商店）  
鹿児島支部長：大城仁（大城）  
宮崎支部長：鬼塚準三（パークデザイン）

#### 【年間予定／いずれも予定です】

4月1日：WG会議（上記メンバーによる会議）  
5月13日：事務局会議（理事、事務局長、会計、広報による実務者会議）  
5月20日：熊本支部RBS  
6月3日：WG会議  
6月中旬（日程調整中）：宮崎支部RBS（立ち上げイベント）  
7月1日：事務局会議  
7月15日：福岡・北九州・佐賀支部RBS（福岡エリア）  
8月5日：WG会議  
9月2日：事務局会議

9月16日：鹿児島支部RBS  
10月7日：WG会議  
10月中旬：他エリア視察ツアー  
11月4日：事務局会議  
11月8日～16日：Renovation Now（参加希望エリアの各社が実施）  
12月2日：事務局会議  
12月中旬：福岡支部RBS兼忘年会  
1月13日：WG会議  
2月3日：運営会議兼福岡・北九州・佐賀支部RBS（北九州エリア）  
3月3日：WG会議

---

## 【2】 【運営会議報告\_02】 会議の要旨と参加者の声をご紹介

---

### 【会議の要旨】

- ・WGや支部長の選任については、実務者とシンボリックな役職（名誉職）を区別し、それぞれの負担を軽減する。同時に各役職に任期制を採用し、多様なメンバーが運営に関われる組織を目指す。
- ・支部のエリア分けを見直し、下記7体制とする。福岡（福岡・北九州・佐賀）、熊本、鹿児島、宮崎、大分、長崎、沖縄。ただし、支部長は「名誉職」としてエリア分けとはリンクせず、北九州、熊本、鹿児島、宮崎に支部長を配する。
- ・各支部の人員数に応じた業務配分を目指す。具体的には、会員数が多い福岡の実働を高め、その他エリアの負担を軽減する
- ・2024年発足した「新しいリノベのリーダーズ」の活動は、WGが継承する。Renovation Nowについては、基本的な枠組みを来期も継承する。
- ・活動予算については、前年に近い予算配分とする。リノベタイムズ発行費に60万円、イベント経費で340万円（Renovation Now 150万円、各地のRBS及び宮崎支部立ち上げ 190万円）。

### 【参加者の声】

- ・2023年に久留米支部が実質閉鎖となり、2024年の途中で沖縄支部長が退任した理由を総括し、今後の改善へと繋げていく必要がある。
- ・支部（エリア）に基づく割振りだけでなく、技術部会、営業部会、不動産部会、マーケティング部会など、それぞれの業務に特化した勉強会に取り組んでほしい。
- ・現在の参加者は社長中心であるため、一般社員、特に若い世代が参加しやすい仕掛けが必要。
- ・さまざまなハラスメントが問題となっている。懇親会の席であっても、一般社団法人のメンバーが集う活動として、問題発言や行儀がないよう意識を高めていく必要がある。
- ・エリアを超えたメンバー個々の関係が良好なことはメリットだが、オフィシャルな決定事項以外での「個人関係に起因した突発事案」が散見される。今後は情報共有の強化が必要。
- ・多様な価値観を持つ事業者が揃う協議会の共通目的を、再確認する必要がある。例えば「誰かを誘いたくなる協議会」など、ベンチマークを策定する必要があるのではないか。
- ・研修ツアーについては会員各社へアンケートを実施し、参加者が求めている「ニーズ」をリサーチした上で、現場の声に沿った企画を立案することが望ましい。

---

### [3] 【RBS開催報告】 鹿児島支部 「ASTERのこれまでとこれから」

---

2025年1月21日、鹿児島支部でRBSが開催されました。今回の講師はASTER（中川正人商店）の中川正太郎社長で、自社の歴史と現在の取り組みを具体的にお話しいただきました。自宅や店舗リノベーションの具体的な事例紹介だけでなく、自社でリノベし、運営している一棟ビルのビジネスの仕組みについても詳しくご説明いただきました。

また、リノベーション・オブ・ザ・イヤーを獲得した「HASSENBA HITOYOSHI KUMAGAWA」の取り組みや、中川社長が運営に深く関わっている市民参加型のナイトマーケット「白川夜市」の意義や行政と連携した仕組みづくりのノウハウも開示いただき、参加者からも多数の質問が続いていました。

有意義な講演会後の懇親会では、3社が新規入会を表明。大城支部長や内村副支部長の取り組みが結実したイベントとなりました。関係者の皆さん、本当にお疲れさまでした！

---

### [4] 【Renovation Times 08号】 ROY2024 受賞作から探るこれからのトレンド

---

2月10日発行のリノベーションタイムズ08号は、もうお手元に届きましたでしょうか。今回の特集は、12月12日に東京で開催された「リノベーション・オブ・ザ・イヤー2024」の授賞式レポートです。TOOL BOXが受賞したグランプリの注目点だけでなく、会場で話題となった斉藤工匠店の取り組みなどについても詳しく掲載されています。

また、トピック欄では昨年11月に初開催した「Renovation Now !!!!!!!」の参加者の声をご紹介します。EXPOからの変換期を経て誕生した新イベントですが、これから各地で成長していく「種」となったようです。事業者同士の情報交換も大切ですが、リノベーションビジネスが各地で広まっていくために、生活者に直接情報を届けられるイベントもやはり大切ですよね。

また、最終ページには、協議会（九州沖縄エリア部会）の「公式LINE」のQRコードも記載しています。そちらにも最新情報をアップしていますので、ぜひ登録をお願いします！

デジタル版：[https://drive.google.com/file/d/1R3bPo9GqhvyQ-e2VsVAM6vS2J3-mZdHZ/view?usp=share\\_link](https://drive.google.com/file/d/1R3bPo9GqhvyQ-e2VsVAM6vS2J3-mZdHZ/view?usp=share_link)

---

### [5] 【Renovation Times 増刊号】 これからのリノベーションで必要とされるキッチン

---

2024年4月に開催した福岡RBS「キッチンのトレンド&ニーズ」をきっかけとして、リノベーションで必要とされるキッチンのあり方を調査した冊子を発行します。今回の調査は福岡支部で副支部長を務める高鳥つばささん（パナソニックハウジングソリューションズ）を中心に、福岡のリノベ会社5社が採用したキッチンの実例を取材を通じて、これからの時代に必要とされるキッチンのあり方について考えた企画です。

お客さまは、なぜそのキッチンを選んだのか。そもそも、お客さまとは誰なのか。実際に使った上での満足度は。買取再販や富裕層向けキッチンのニーズとは。リノベのプロが自宅で選んだキッチンとは。

多様な事業者がそれぞれの立場で見、学べるリーフレットになる見込みです。また、エリア内の10社が詳細なアンケートに回答し、およそ100件の施工データを元にした「採用数の多いキッチンや施工費」に回答した結果も掲載。リノベ事業者の平均工事単価やそれぞれのセグメントごとのキッチンランキングなど、大注目のデータも掲載されています。

3月後半に完成後、皆さまのお手元にもお送りさせていただける予定です。情報獲得のツールとしてはもちろん、お客さまにもご覧いただける内容となっています。こちらの冊子は、全国のパナソニックハウジングソリューションズのスタッフにも配布され、リノベ市場の拡大ツールとしても活用いただけるとのこと。取材にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございます！

---

## [6] 【余話】 広報担当がつぶやく「ここだけの話」

---

昨年度、久留米支部が閉鎖となった理由は「協議会活動のメリットを十分に感じてもらえなかったからではないか」と感じています。今年度、沖縄支部が支部長不在エリアとなった理由は「一部の会員（支部長）に、業務負担が集中していたから」だろうと思います。

どんな組織にも問題はあります。しかし、それを乗り越えて成長を続けていくには挑戦しかありません。組織論において「現状維持は退化」と言われる通り、成長のためには個人も組織もチャレンジは欠かせません。ただし、その際に「勢い」だけで挑戦することは避けるべきです。現在の課題を洗い出し、本質的な問題点を追求し、その対処法を考えに考えて実行する。来期の協議会活動がどのように変化していくのか、楽しみにしています。

次回は2025年3月4日（火）16時から、福岡市中央区薬院にあるパナソニック福岡ビルにて「WG会議」を開催します。会員の方は、どなたでもご参加可能です。お気軽にご来場ください。

-----  
【会員向けメルマガ掲載情報】「会員企業からのお知らせ」募集のご案内  
会員企業（事業者）に向けてメルマガに掲載する「お知らせ」を募集しております。ご希望の方は、事務局の原（[info@hara23.jp](mailto:info@hara23.jp)）までご連絡ください。

- 
- お使いのメーラーおよびセキュリティ環境により受信できない場合があります。
  - 配信停止を希望する場合は、各社の連絡担当者もしくは事務局の原にご連絡ください。新規にメール配信を希望する方はこちらからアカウント登録ください。  
<https://app.renovation.or.jp/member/account/signup>  
(アカウント登録には各社の連絡担当者の承認が必要になります)
  - ※ 指定代表者・連絡担当者の場合は変更手続きが必要ですので事務局へご連絡ください。
  - 配信元：リノベーション協議会 九州・沖縄エリア部会 (<https://www.renovation.or.jp>)  
お問い合わせはこちら → [info@hara23.jp](mailto:info@hara23.jp)
- 

掲載記事の無断転載を禁じます。

Copyright(c)2024 Residencial Renovation Promotion Council.  
All Rights Reserved

---